



堺フェニックスロータリークラブ
SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー	久保 治雄
会長	中井 昭宏
幹事	松田 香純
会報委員長	中井 崇嗣

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:第一週・ホテル第一堺
二週目～・茶房カオル<http://www.sakaiphoenix.com>

第772回例会

通巻738号

平成25年8月8日

2013-2014年度No.6

第772回	2013-2014年度	第6回目
8月8日	16時00分	クラブ事務所
開会点鐘	会長 中井 昭宏	
ロータリーソング	堺フェニックスRCの歌	
会長の時間	会長	中井 昭宏
幹事報告	幹事	松田 香純
委員会報告		
食事 貴船のお弁当		
ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート		
曲目 ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」 チャイコフスキー: 「懐かしい土地の思い出」メロディー サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ ブラームス: 「F. A. Eソナタ」より「スケルツォ」 ブラームス: ハンガリー舞曲 第1番、第7番		
ニコニコ報告	副SAA	濱田 由美
出席報告	副SAA	仲峯 豊
閉会点鐘	会長 中井 昭宏	

例会の予定

8月22日

クラブ・フォーラム「国際奉仕」

中野一郎会員

8月29日

クラブ・フォーラム「青少年奉仕」

内藤絵梨奈会員

第12回韓日親善会議についてのお知らせ



韓日親善委員会委員長 蔡 熙秉
日韓親善委員会委員長 元RI理事 今井 鎮雄
日韓親善委員会連絡幹事 市川伊三夫

2013年10月19～20日、韓国・グラウンド・ハイアット・ソウルで第12回韓日親善会議が行われることになりました。1982年に始まった親善会議の目的は、ロータリーの目標である理解と親善を深めることです。ぜひ多数ご参加ください。



2013-14年度 RI会長 ロン・バートン(Ron D. Burton)

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を





みんなのお祝い



米山記念奨学金授与

米山記念奨学委員会の片岡富美子委員長よりシュウブンさんに贈呈です

米山記念奨学生のシュウブンさんからクラブに記念品を頂きました。彼女のご両親からです。



会長の時間

中井昭宏 会長



幹事報告

松田香純 幹事



本日はロータリーの友は広報誌でしょうか、情報誌でしょうか。

ロータリーの友はロータリーについての情報誌です。ですからロータリアン以外の方を対象にして作られていません。もちろん読んでいたたくのは結構です。ロータリーのことを理解して頂けるように編集されています。

世界や日本のロータリーの現状や奉仕活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるように作られています。

みなさんはロータリーの友をしっかりと読まれていますか、中には全部読んでないとか、忙しくて読んでないとか、速報性がないから読んでないとか、いろいろな言い訳をされますが、たった10分時間があれば1週間はかかりません。ぜひ今日からじっくり熟読してみてください。

本年も変わりませずロータリーの友への投稿をおこなっていきたいと思います。去年は堺フェニックスの文字がたくさん、友誌にでていました。よろしくお願ひいたします。

また地区雑誌・公共イメージ委員会からクラブに案内が来ております。当クラブからは河野会員が委員としてご活躍頂いております。ぜひ、みなさんで協力し地区行事に参加された奉仕活動の写真をクラブアドレスまでお送り下さい。地区雑誌・公共イメージ委員会やロータリーの友への投稿をおこなっていきます。

みなさんがロータリーの情報を得るときに何を利用されますか。RIや地区のホームページ、ロータリージャパン、ロータリーの友だと思ひます。

では、最後にロータリーの友は各会員一人ひとりにとって、読み方も違えば、感じ方も違うと思ひます。そして表現の仕方、思いも。個々の経験によって変わると。読んだことを、感じたことをぜひ語って頂ければと思ひます。

8月のロータリーレートは100円となっております

本日クラブ会費入金いただきました会員様には領収書を発行致しております。ご確認下さい。また、入金したのにないお手元にない会員様、誤字脱字等不備があれば私までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

本日回覧は2部です。ハイライト米山と日韓親善会議についてです。日韓親善会議に出席なさる方は登録締め切りが16日となっておりますのでお早めに私までお知らせください。

諏訪湖RCからのご依頼でピアノカを集めております。案内をお配りしております。期間なしですのでご親族等お声がけいただき、ご協力お願いいたします。

8月8日神戸市三田で行われますストラディバリウスチャリティーコンサートの詳細説明致します。希望者のみクラブ事務所を16時時間厳守でバスにて出発します。車中でお弁当とチケット引き換えに2000円徴収致しますのでご用意お願いいたします。18時30分開演19時30分終了となっております。終了後はバスにてクラブ事務所まで帰る予定でございます。

なお、直接会場へいかれる方には本日チケットをお渡し致します。当日お忘れなくお持ちください。

8月15日は定款細則6条1節による休会。
8月22日は茶房カオル様での例会となっております。明日より本格的な暑さになるようです。夏風邪等体調も崩ししやすいですので皆様お体ご自愛ください。

近隣クラブ

堺東RC	8月13日休会
堺おおいずみRC	8月14日休会
堺中RC	8月14日休会
堺東南RC	8月15日休会、8月22日例会出雲大社
堺泉ヶ丘RC	8月13日休会、8月27日TOHOシネマズ
	泉北「夏の映画例会」
堺清陵RC	8月15日休会
堺北RC	8月16日休会





国際ロータリー第2640地区
直前ガバナー 北中 登一 様

『青少年奉仕（青少年交換）について』

すべてのものに思いやりがあるという事が、私は人間にとって一番大切なことだと思う。

昔、中国の孔子と言う先生が、ある時多勢のお弟子のおるところで、「吾が道一以て之を貫く」とおっしゃった。儂の道徳はたった一つだけだと。すると一番長老の、曹司(そうし)というお弟子が、「唯(い)、はい、さようでございます、と、肯(うけが)いました。

先生が向こうへいらっしゃったら、他の弟子たちが曹司に。「先生は儂の道徳は一つじゃとおっしゃった、そしてあなたは、はいと返事をなさったが、先生のおっしゃる、その一つの道徳とは何ですか」。こういって尋ねますと、曹司が、「夫子(ふうし)の道は忠恕のみ」、先生の道徳は忠恕と言う事、誠実で思いやりがあるという事、それだけだと答えられたという話があります。

まさに、ロータリーでいう、慈愛の精神、仏教でいえば、慈悲の精神ではないかと思う。

昨年度も縁あって、クラブでは4人の学生のお世話をしました。それぞれ個性的で、日本での生活を存分に楽しんだ事と思います。将来どんな人間に成長していくのやら、楽しみであります。

そのうちの一人、アメリカはNebraskaから来た、Jeevanと言う学生がいました。私は、人間と言うのは、見てくれだけで判断してはいけないという事、改めて知りました。今までの経験から重々わかっていたつもりなのに、今回も同じ轍を踏んでしまい、後悔した次第です。

インド人を両親として、アメリカで生まれ、育った彼は、生活環境、特に家庭環境に恵まれず、特に精神科医師の父親とはそりが合わず、従って躰もなされないまま、自由奔放に生きてきた。そんな中で大阪に来たのであるが、環境が変わっても身につ

た生活習慣はそう簡単に変える事ができない。勢い受け入れ家庭とのトラブルは生じる。どちらも不幸であったと思う。ただ偉いと思ったのは、彼はヒンズー教徒であり、絶対に牛肉を口にしないことであった。

私の家に来た時も、苦虫をつぶした顔をしていた。生活するうちに、彼には、今までの学生になかった素晴らしい才能がある事が分かりだした。朝起きる事が出来ない。起きてきても片目は寝ている。何故夜眠れないのか、訊く。すると寝ようとすると別の人間が起きだして、頭の中でダンスを始める。五木寛之と言う、今人気中の作家の生活は、朝まで仕事をしてそれから寝るという。なるほどなど、合点するが、彼の場合は学校に行かねばならない。

私の家庭にはピアノがあるが、ある時弾いて良いかと聞くのでどうぞと言うと、弾き出したのであるがとてもセンスがあつてうまい。音楽的才能もある。当初、大変な学生を預かったなあとの印象が、良い印象に変わってきたのである。しばらくしてグリークラブにも入部、学生生活はバラ色に変わっていくのである。

山田青少年交換委員長が、派遣の段取りを進めていく過程で、突然デンマークから学生の受け入れ拒否の通達が来る。ほとんど困ってしまったのである。デンマーク行を楽しみにしていた学生の夢が一夜にして崩れてしまったのである。思いついてJeevanに相談すると、すぐNebraskaの委員長に電話、窮状を訴えてくれたのである。ここがアメリカ人のいいところなのであるが、それを聞いてすぐに、OK、Nebraskaにおいてと言う事になり、あつという間に問題が解決し、晴れてデンマークへ行く代りにアメリカへの留学となった。その委員長、5月に来阪、お会いしたがとても良い人であった。ロータリーにはこういう感動があるかられない。3月にもAustralia留学の準備している学生のGuranteeがなかなか来ない。この時も直接委員長に電話して、助けてくれたのがこのJeevanであった。

もう一人の学生、それはイギリスからのMai Atzmonである。イギリスからの留学生は珍しく、何年振りであろうか。海外からの留学生は、一般的には精神的に成熟しているが、彼女は日本の学生とよく似ていた。家庭的に恵まれている学生は、押しなべてこうなるのかなど、思う。彼女は純粋にイギリス人ではなく、あの有名なパレスチナからイギリスに両親と移民した、パレスチナ人である。従って今でも祖父と祖母はガザ地区にお住まいで、イスラエル空軍がガザ地区を攻撃したとのNewsに涙していたが、気持ちはわかる。彼女も色々な才能の持ち主であり、絵の才能があり、音楽の才能を持っていた。チェロの練習を続けたいというので、住吉高校の先生のご厚意でチェロを借りたが、あまり練習をせず、かりそめにも彼女の演奏が上手とは言えなかった。少々自信過剰な所があった。彼女の父親は、有名なサクソホン奏者で結構演奏旅行されているようであった。その父親が一家で大阪に来られたのである。難波にあるアイリッシュパブと言う場所で演奏する

ので来てくれと言うので、私の趣味はクラシック音楽で、ジャズにはあまり興味がなかったけれど、義理で出かけて行った。うんざりしたのは、演奏はさておいて、パレスチナ問題について、滔々とおしゃべりされた事である。こんな考えを持っている方がいらっしゃる限り、永久に平和は来ないと思った。然るに数日前、米国のケリー国務長官の取り計らいで、再び、イスラエルとパレスチナとの間で和平会議が開催される事が決まったとのニュースが流れたが、どうもあまり期待が持てない。仏教でいう、恩は石に刻み、恨みは水で流すような気持ちにお互いがならないと、永遠に平和は来ないばかりか、核戦争勃発で、下手をすると地球全体が破壊されてしまう懸念もある。一見平和そうな世の中であるが、この学生のお蔭で、現実が抱える厳しい世界の一部を垣間見る事が出来た。日本の学生も、平和ボケから一日も早く脱却し、現実を見据えながら、将来を考える必要があるのではないか。

彼女は学校から帰ってくるとほとんど毎日、夕食をはさんでスカイプするのが日課となっていた。時には祖母や両親や弟と、時には友達と、それはそれはよくも話題に事欠かないものと感心するほど、喋り捲るのである。彼女は英語だけでなく、アラブ語も話しているようで、内容が理解できない。長年青少年交換プログラムに従事してきたが、不思議な事件に遭遇した。学生に入らなくなった荷物を帰国前に送るよう指導、マイさんも例外なく小包をイギリスに送ったのであるが、彼女の荷物を積んだ船がシンガポールを出港、ドバイへと航行中浸水、沈没してしまったのである。これにはびっくり仰天、現在保障問題で交渉中である。

皆様のクラブではすでに幾度となく経験されている事なのでいう事はないが、私は、クラブの活性化には青少年交換事業が最も役に立つと、今までの経験から自信を持って言える。

青少年交換事業がきっかけとなって、国際奉仕も出来たし、海外の人々との交流も出来たし、ロータリーのお蔭で世界時な視野に立って物事を考える事が出来るようになった。一番印象に残っているのは、2003年度から2005年度にかけて、Venezuelaはカラカスにある貧民街で生活するsingle mothers（子育てをする未婚の母親）を対象に、RI百周年事業の一環として、彼女らの自立自助支援をするために、マイクロクレジット活動、「Microcredit for single mothers」を実施した事である。RIの大阪大会とシカゴ大会で、ブースを借りて活動の一部始終を披露したが、朝から夕方までブースにいて、興味を持って立ち寄ってくれる世界中のロータリアンとの出会いが新たな感動となった。

この度、リスボンに行かせていただいたが、ここでもポルトガル、台湾、フランスからのロータリアンとの出会いがあった。近い将来ポルトガルから短期交換学生の受け入れが出来ればと考えている。今年も間もなくIndonesiaとMexicoから交換学生が来る。今から楽しみであります。

学生のお世話をする際に問題になるのは健康状態

です。一般の交換事業を職業にしている方ならば、健康が良くなければ断ります。本人も家族も納得でしょう。本音はロータリーの交換学生の場合でも世間一般の常識に従って、健康でないならば、留学は無理ですよと、お断りしたいし、しても当然でありましょう。しかし、ロータリーの基本理念を考えれば、それは出来ないのです。慈悲の精神があればそれが出来ないのです。ここに難しい問題があるので。心が揺れ動く一瞬です。

ある時、Central states のchairman john wetingから、日本に留学したい、しかしどこの地区も受け入れてくれない学生がいるが、受け入れしてくれないかとの問い合わせ。事情を聴くと、ユダヤ人で、一型の糖尿病を持った学生との事。ふと、西田幾多郎博士の言葉、人間の存在と言うのは、絶対矛盾的な自己同一を思い出す。

当時委員の一人であった岩出RCの和田康先生と相談の結果、断るわけにはいかん、さりとてもしものことがあればどうしよう、非常に悩む。結論として、まず三か月預かる事にしよう、それでうまくいかなければ帰国してもらおう、うまくいけばそのまま留学生生活が続けようという事で話がまとまる。結果として、毎日インシュリンの注射、検尿を続け、無事一年間の留学生生活を終えたのです。ある意味で快挙でした。

最近ようやく年間自殺数が3万人を割り込んできました。有難いことではあります。一時五木寛之さんは、人間の心が乾いている、軽くなった、そこで簡単に自分の命を絶つし、人の命も奪うと。医学的に見た場合、女性に限ってたばこを急にやめると、Neurose(うつ病)になるという。これは、女性ホルモンと関係していて、急に禁煙すると、脳内のセロトニンと言う物質が減少、結果として、Neuroseになるという。最近の傾向として、うつ病の患者が増え続けている。これを治療するためにSSRI(抗うつ病)の薬が投与される。不思議なことに、SSRIが市販された途端、国内で自殺者が3万人を超え、2009年によく乱用を戒める通達が出て歯止めがかかり、2012年には15年ぶりに3万人をきったのである。うつ病は脳内セロトニンが減少する事で発症すると言われ、セロトニンを増やすのがSSRIだが、セロトニンは、必須アミノ酸のトリプトファンがないと作ることが出来ない。今年2月にグアムで起きた無差別殺人事件の犯人はSSRIを服用していた。殺人衝動が自分に向かえば、自殺企画となる。

河内長野RCで受け入れ戴くことになっていた学生が、うつ病であった。学生の母親が気分転換に日本に行けば治ると考えたのである。この時も地区委員会は苦慮した。河内長野RCとも話をした。頭から否定できないので、まず受け入れた。結果、良くなるどころか、悪くなる一方、ロータリアンは病院を変えては、少しでも良くなるように努力されるが、一向に良くなるならない。そこで私は酷のようであったが、もし自殺されたらとんでもない事になると考え、帰国してもらおう事にした。この判断は間違っただけでなかったと思う。

にこここ報告

北中 登一 直前ガバナー

卓話に呼んで頂き感謝

米田 眞理子 パストガバナー

北中直前ガバナー様、本日は卓話ありがとうございます。いろいろお世話になり重ねてお礼申し上げます。

中井 昭宏 会長

本日は北中登一直前ガバナー様、卓話ありがとうございます。シュウブンさん、ようこそお越しくださいました。

今年は暑い日が多く、そして続きます。お体ご自愛ください。

石田 得子 直前会長

北中直前ガバナー、本日はようこそお越し下さいました。昨年度は大変お世話になり有難うございます。シュウブンさん、ご両親にお会いできなくて残念です又おみあげありがとうございます。小野先生スマート写真（周さんとあまり変わらない半分カットで写して）感謝です。

中井 崇嗣 会長エレクト

北中直前ガバナー、本日はようこそお越し下さいました。昨年度は1年間お世話になりありがとうございます。今年度は疲れをお取り下さい。

上田 俊夫会員

北中直前ガバナー様、卓話楽しみにしています。公式訪問の欠席おわび。

辻野 美智子会員

北中直前ガバナー、本日はようこそお越しいただきましてありがとうございます。卓話楽しみに聞かせて頂きます。よろしく願いいたします。

犬伏 幸代会員

先週は欠席すいません。北中直前ガバナー様、本日はお暑い中誠にご苦勞様です。よろしく願いいたします。

中野 一郎会員

北中直前ガバナー様、本日はありがとうございます。

仁木 順子会員

直前ガバナー北中登一様、本日ありがとうございます。

猿田 慎男会員

会社の創業記念のお祝いを頂いたのは初めてです。ありがとうございます。

山本 加容子会員

毎日暑い日が続いて大変ですね。今日は直前ガバナー北中様の卓話楽しみにしております。

松本 美和子 SAA

北中直前ガバナー本日はありがとうございます。

田中 範子会員

北中直前ガバナーようこそおいでくださいました。ごゆっくりお楽しみ下さい。娘のお誕生日祝いありがとうございました。

片岡 富美子会員

毎日暑い暑いと口についできます。本日は直前ガバナー北中登一様の卓話を楽しみにしています。

仲峯 豊 副SAA

こんばんは、本日は北中直前ガバナーようこそ堺フェニックスRCに御越し下さいました。今後ともよろしく願います。

濱田 由美 副SAA

北中直前ガバナーようこそお越し下さいました。例会を楽しんで下さい。今後ともよろしく願います。

金谷 昌信

直前ガバナー北中登一様、本日の卓話楽しみにしております。宜しく願います。

松田 香純 幹事

直前ガバナー北中登一様、本日はお忙しい中、卓話に御越し下さりありがとうございます。来週はクラブ事務所前に16時までにお集まり下さいますようお願いいたします。毎日暑いですが、がんばりましょう。

出席報告

在籍者	32名	出席者	27名
出席計算会員	31名	欠席者	4名
出席免除会員 (小林)	1名	免除出席者	0名
先々週修正出席率	79.96%	出席率	87.09%

欠席報告（8月1日）

山田 真樹	診療のため (Make-up済)
岡田 正一	仕事のため (Make-up済)
片木 修	仕事のため
吉川 美幸	

Make-up報告

岡田 正一	1日	IAC韓日交流会
中井 昭宏	1日	IAC韓日交流会
米田 眞理子	1日	IAC韓日交流会
上田 俊夫	2日	大阪RC



インターアクト韓日交流会

インターアクト委員
地区副代表幹事

中井昭宏

8月1日に韓日交流会が開催されました。この交流会の4回目を迎え、国際ロータリー第3350地区のインターアクトクラブの顧問、インターアクター、そしてDuk-Hwan Moonパストガバナーが当地区インターアクトクラブと堺市を訪問して下さいました。

今回は韓国からの飛行機が遅れるなどのハプニングもありましたが、無事交流会を開催することができました。

まずは堺と韓国とのつながりを竹山堺市長、狭間堺副市長からお話頂きました。現在はロータリーによる地区同士の絆についてDuk-Hwan Moonパストガバナーと米田眞理子パストガバナーからお話がありお互いの絆をより深く結びました。

また、今年は韓国ソウルで10月19日、20日に日韓親善会議が開催されます。当地区は韓国とのかわりが多くございます。ぜひ10月に開催される親善会議のもご参加頂き、新たな輪を広げて頂きたいと思います。

インターアクター達は共に交流を深め、笑顔でいっぱい交流会となりました。

堺フェニックスからは米田眞理子パストガバナー、岡田正一副代表幹事と私が出席してまいりました。

